

編集・発行 大学美術教育学会広報室
理 事 長 八重樫良二(北海道教育大学)
総 務 局 長 芳賀正之(静岡大学)
広 報 室 E-mail: daibibumon@uaesj.com (総務局専用)
事 務 支 局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る西大路町
146 番地 中西印刷株式会社 学会部内
TEL: 075-415-3661/FAX: 075-415-3662
E-mail: uaesj@nacos.com

大学美術教育学会理事長挨拶

大学美術教育学会理事長 八重樫 良二(北海道教育大学)



令和2年度の理事長を務めさせていただきます北海道教育大学の八重樫です。今年起きた新型コロナウイルス禍は社会経済活動に大きな打撃を与え、その影響は多方面に及んでいます。当学会におきましても9月開催の宇都宮大会について、一堂に会する開催の仕方をやむなく変更し、ICTを活用しての方法で実施した所です。このことにつきましては学会HPをご覧くださいようお願いします。

改めまして。私の専門分野はデザインです。本学会は私のように実技分野に係る教科専門に属する研究者と美術科教育に関する専門に属する研究者、あえて大別するなら実技系と理論系といった違いあるメンバーから構成されることに特徴があることと思っています。

ですが法人化以降、美術教育に携わる大学教員の数には削減が進む傾向にあります。いきおい美術史・美術理論といった理論系の分野も含む教科専門について、選択的な人事配置にならざるを得ないのが実情です。本学会においても教科専門に属する会員が減少し、論文査読に際しても分野によっては手不足が生じています。

大学教員の減少は同時に若年層の割合が減ることともなり、高齢化社会を示す人口比が逆ピラミッド型になることと同様、今のままでは学会運営について何かとうまく対応できなくなることが予想されます。前理事長、新潟大学の佐藤先生がこ

の話題をめぐって昨年度の本会報No.37に「美術教育学会の未来」と題する一文を書かれています。文中、本学会と日本美術教育学会と美術科教育学会の連携組織である「造形芸術教育協議会」での論議について報告され、この三学会の統合問題について言及されています。

どの学会でも運営に多くの労力が割かれることは言うまでもありません。本学会では昭和38年の学会発足以来、長らく理事長が在籍する大学スタッフがその務めを果たしておられました。平成24年度からそれに代わるものとして事務作業のアウトソーシング化に取り組み、さらなる合理化を進めて苦心の末に平成26年には現在の運営スタイルとなった経緯があります。それでもなお学会運営に伴う労力は大きく、世代交代を頼りとした方策だけでは継承が困難となることを思わずにはられません。

持続可能な学会運営を目指す上で本学会を含む三学会の統合は、運営の合理化と多重の学会加入を軽減する方策に成り得ることから、次代の学会像としてその具体化への検討が始められようとしています。本学会の特色を損なうことなく新たな学会像へと向かうには、学会員の皆様の合意形成がなによりも大切です。会員の皆様からのご意見、お考えをお寄せ下さると幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

令和元（2019）年度 学会 役員・各種委員会委員一覧

- 理事長 佐藤哲夫*（新潟大学）
- 副理事長 八重樫良二*（北海道教育大学）
山田芳明*（鳴門教育大学）
- 顧問 小野康男*（前 横浜国立大学）
- 総務局理事
- 総務局長 新野貴則*（山梨大学）
- 副総務局長 芳賀正之*（静岡大学）
村田 透*（滋賀大学）
- 総務局員 笠原広一（東京学芸大学）
河西栄二（岐阜大学）
前芝武史（兵庫教育大学）
小谷 充（島根大学）
大貫真寿美（帝京大学）

■大会運営委員

河西栄二（岐阜大学）
株田昌彦（宇都宮大学）

■監事

山本政幸（岐阜大学）
松尾大介（上越教育大学）

■地区全国理事

I〔北海道〕

橋本忠和（北海道教育大学函館校）
竹田園子（北海道教育大学岩見沢校）

〔東北〕

遠藤敏明（秋田大学）
蛭名敦子（弘前大学）

II〔関東〕

宮里明人（東京学芸大学）
渡辺邦夫（横浜国立大学）

III〔北 陸〕

池上貴之（金沢大学）
隅 敦 （富山大学）

〔東 海〕

大宮康男（静岡大学）
安田篤生（愛知教育大学）

IV〔近 畿〕

前芝武史（兵庫教育大学）
日野陽子（京都教育大学）

〔四 国〕

金子宜正（高知大学）
山田芳明（鳴門教育大学）

V〔中 国〕

吉田貴富（山口大学）
井戸川豊（広島大学）

〔九 州〕

幸 秀樹（宮崎大学）
廣瀬 剛（大分大学）

■私立大学全国理事

浅野卓司（桜花学園大学）
沖中重明（頌栄短期大学）

■学会誌委員会

委員長 山田芳明（鳴門教育大学）
副委員長 上山 輝（富山大学）
副委員長 小谷 充（島根大学）
委員 [H30-R1 年度委員 5名]

有田洋子（島根大学）
伊藤将和（上越教育大）
大西洋史（関西国際大学）
佐藤哲夫（新潟大学）
勅使河原君江（神戸大学）

委員 [R1-2 年度委員 5名]

竹井 史（同志社女子大学）
秋山敏行（愛媛大学）
西村德行（東京学芸大学）
前芝武史（兵庫教育大学）
池田吏志（広島大学）

*印：運営委員

令和2（2020）年度 学会 役員・各種委員会委員一覧

■理事長 八重樫良二*（北海道教育大学）

■副理事長 新井 浩*（福島大学）

山田芳明*（鳴門教育大学）

■顧問 佐藤哲夫*（新潟大学）

■総務局理事

総務局長 芳賀正之*（静岡大学）

副総務局長 村田 透*（滋賀大学）

松尾大介*（上越教育大学）

総務局員 笠原広一（東京学芸大学）

河西栄二（岐阜大学）

前芝武史（兵庫教育大学）

秋山敏行（愛媛大学）

大貫真寿美（帝京大学）

■大会運営委員

株田昌彦（宇都宮大学）

小林俊介（山形大学）

■監事 新野貴則（山梨大学）

原口健一（横浜国立大学）

■地区全国理事

I〔北海道〕

竹田園子（北海道教育大学岩見沢校）

福江良純（北海道教育大学釧路校）

〔東北〕

蛭名敦子（弘前大学）

平野英史（岩手大学）

II〔関東〕

渡辺邦夫（横浜国立大学）

神野真吾（千葉大学）

III〔北陸〕

隅 敦 （富山大学）

松尾大介（上越教育大学）

〔東海〕

安田篤生（愛知教育大学）

関 俊一（三重大学）

IV〔近畿〕

日野陽子（京都教育大学）

藤田昌宏（滋賀大学）

〔四国〕

山田芳明（鳴門教育大学）

吉川暢子（香川大学）

V〔中国〕

井戸川豊（広島大学）

山本和史（岡山大学）

〔九州〕

廣瀬 剛（大分大学）

宮平洋平（福岡教育大学）

■私立大学全国理事

沖中重明（頌栄短期大学）

■学会誌委員会

委員長 山田芳明（鳴門教育大学）

副委員長 秋山敏行（愛媛大学）

副委員長 小谷 充（島根大学）

委員 [R1-2 年度委員 4 名]

竹井 史（同志社女子大学）

西村德行（東京学芸大学）

前芝武史（兵庫教育大学）

池田吏志（広島大学）

委員 [R2-3 年度委員 7 名]

吉川暢子（香川大学）

小林俊介（山形大学）

渡辺美香（大阪教育大学）

栗原 慶（鳴門教育大学）

小池研二（横浜国立大学）

有田洋子（島根大学）

八重樫良二（北海道教育大学）

*印：運営委員

令和元年度 委員会活動報告

学会誌委員会令和元年度活動報告

1. 『美術教育学研究』第52号について

本年度の投稿本数は68編（昨年度66編）であった。事前登録数は95件（昨年度は90件）であった。

11月3日に大阪大学中之島センター4F兵庫教育大学連合大学院大サテライト室にて第2回学会誌委員会を開催し、査読結果を審議し、掲載・不掲載・条件付き掲載・追加査読を決定。追加査読については学会誌員による査読を行い、全員で審議の上条件付き掲載又は不掲載を決定した。

最終結果：掲載49編（掲載率72.1%）※昨年度46編・掲載率69.7%

内訳：掲載9編、条件付掲載40編（第1回査読条件付掲載34編・追加査読による条件付掲載6編）、不掲載19編（第1回査読不掲載6編・追加査読による不掲載13編）

2. 学会誌委員会等開催

(1) 中西印刷との打ち合わせ（令和元年6月7日）
諸調整事項を確認。理事会メール審議

(2) 第1回学会誌委員会（令和元年9月20日）岐阜大学

学会誌委員顔合わせ、運営日程等確認

(3) 第1回幹事会（令和元年9月21日）岐阜大学

(4) 第2回幹事会（令和元年11月3日＊学会誌委員会開始前）大阪大学中之島センター（兵庫教育大学連合大学院大阪サテライト室）

(5) 第2回学会誌委員会平成30年11月3日＊学会誌委員会開始前）大阪大学中之島センター（兵庫教育大学連合大学院大阪サテライト室）

(6) その他 不定時幹事会（メール審議等）、正副委員長と中西印刷との調整等

3. 今年度総括と今後の検討事項

(1) 編集係（中西印刷）の業務進行が極めてスムーズなため、学会誌委員会の進行もスムーズであり大変助かっている。進行上は現状問題ないと思われる。

(2) 査読者数は、昨年度より微増したものの、査読者の専門領域の多様性の確保が困難であるという状況は昨年度から大きな変化はなかった。多忙を理由に承諾しないケースや、1編のみの承諾といったケースも増えてきている。）

(3) 52号は51号より4編（32ページ）増加した。学会員の投稿数、掲載数共に、昨年度よりも増加したことは学会の発展に寄与することであろう。しかし、51号がゆうメールで送付できるサイズの上限であったため、今後学会誌の送付方法について検討が必要となっている。

4. その他

学会誌刊行のプロセスについては、中西印刷と毎年協議を行うことで安定感を持って実施できるようになってきており、本年度は事前登録や投稿締切等に関するトラブルはほぼなかった。一方で、投稿された原稿には、規定のフォーマットから文字の大きさや字数・行数が変更されていたり、図表が極端に縮小されていたりしているために、印刷所のレイアウト段階で頁数がオーバーするといった問題が依然存在している。編集委員会として、中西印刷と相談し、投稿規定や投稿者への案内等をより分かりやすいものになるように改訂していく必要がある。それと同時に投稿者には是非投稿の規定や案内文等を熟読していただき、それに沿った原稿の作成や校正をお願いしたい。

学会誌委員長 山田芳明（鳴門教育大学）

令和元年度 理事会報告

日時：令和元年9月20日（金）15:30-16:30

場所：岐阜大学 共通教育棟31講義室

司会進行：新野貴則（総務局長）

I あいさつ

開会の辞 八重樫良二副理事長から挨拶がなされた。

理事長挨拶 佐藤哲夫理事長から挨拶がなされた。

II 報告事項

1. 令和元年度学会員登録状況

芳賀副総務局長より、2019年9月20日現在751名(内1名、学会誌購読会員)と報告がなされた。

2. 令和元年度 役員・各種委員会委員

新野総務局長より、概要集の資料をもとに令和元年度役員・各種委員会委員の報告がなされた。

3. 平成30年度 事業報告

新野総務局長より、概要集の資料をもとに平成30年度事業報告について報告がなされた。

4. 令和元年度 部門会員名簿

村田副総務局長より、学会員名簿について報告がなされた。

5. 学会各種委員会

(1) 学会誌委員会報告

山田委員長より、学会誌第51号の登録数・投稿数・掲載数、論文ぬき刷り数の設定、同一投稿者の1号あたりの投稿件数の設定、学会誌第52号の登録数・投稿数について報告がなされた。

6. 令和元年度 岐阜大会の日程及び内容

河西大会運営委員より、岐阜大会の日程及び内容について報告がなされた。

7. その他

佐藤理事長より、造形芸術教育協議会（三学会連携）を令和元年度に開催予定の報告がなされた。

III 協議事項

1. 令和2-3年度 学会理事長・副理事長（案）について

佐藤理事長より提案があり、総会にて承認を得ることが確認された。（理事長：北海道教育大八重樫先生 副理事長：福島大新井先生、鳴門教育大

山田先生）

2. 平成30年度決算、令和元年度 事業計画（案）・予算（案）

(1) 平成30年度 決算

芳賀副総務局長より説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。

(2) 平成30年度 監査

松尾監事より資料をもとに令和元年9月20日に実施した監査委員会について、会計が適切に処理され、正確に決算が執行された旨の説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。

(3) 令和元年度事業計画（案）

新野総務局長より、概要集の資料をもとに説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。

(4) 令和元年度予算（案）

芳賀副総務局長より説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。

3. 「研究発表に関する規定」の改正（案）

新野総務局長より説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。

4. 令和2年度全国大会開催大学

株田・大会運営委員より、令和2年度宇都宮大会日程について説明がなされた。

5. 全国大会に関する地区会からの提案

宮里・関東地区会 地区全国委員より、宇都宮大会運営について関東地区で準備委員会を設置する説明がなされた。遠藤・東北地区会 地区全国委員より、山形大会の運営について東北地区で協力して運営をする説明がなされた。山田・東北地区会 地区全国委員より、四国地区においても大会運営に関して同様の問題がある説明がなされた。

結論として、当面の全国大会に関して、開催順はこれまで通りブロック・地区で廻すが、運営に関して開催校とブロック・地区の各大学が協力・工夫をすることとなった。

IV あいさつ

閉会の辞：山田副理事長から挨拶がなされた。

令和元年度 総会報告

日時：令和元年9月22日（日）16:15-16:45

場所：岐阜大学 共通教育棟105教室

司会進行：河西栄二（岐阜大学）

（日）の仮日程で予定されている宇都宮大会について、説明がなされた。

1. 開会の辞

佐藤理事長より挨拶がなされた。

2. 議長団選出

議長として関東地区会の宮里明人（東京学芸大学）、副議長として近畿・四国地区会の前芝武史（兵庫教育大学）が選出された。

3. 議事

【報告事項】

（1）令和元年度 役員・各種委員会委員等
佐藤理事長より概要集の資料をもとに令和元年度役員・各種委員会委員の報告がなされた。

（2）平成30年度 事業報告

新野総務局長より概要集の資料をもとに平成30年度事業の報告がなされた。

（3）平成30年度 決算

芳賀副総務局長より資料をもとに平成30年度決算の報告がなされた。

（4）平成30年度監査

山本監事より、資料をもとに令和元年9月20日に実施した監査委員会について、会計が適切に処理され、正確に決算が執行されていたことの報告がなされた。

（5）学会誌委員会

山田委員長より、学会誌第51号の登録数・投稿数・掲載数、学会誌第52号の登録数・投稿数について報告がなされた。

（6）令和2年度全国大会の開催大学

株田大会運営委員より2020年9月19日（土）、20日

【協議事項】

（1）令和2-3年度 学会理事長・副理事長（案）について

佐藤理事長より提案があり、総会にて承認された。

（理事長：北海道教育大八重樫先生 副理事長：福島大学新井先生、鳴門教育大学山田先生）

（2）令和元年度事業計画（案）

新野総務局長より、概要集をもとに令和元年度事業計画（案）について説明があり、承認された。

（3）令和元年度予算（案）

芳賀副総務局長より、学会員は2019年9月20日現在751名（内1名、学会誌購読会員）と報告がなされ、資料をもとに令和元年度予算（案）について説明があり、承認が得られた。

4. 議長団解任

5. 閉会の辞

山田副理事長より閉会の辞がなされた。

平成30年度 大学美術教育学会 決算

■収入の部

(円)

	費 目	金 額	備 考
年会費	会費	4,924,000	8,000×615名 4,000×1機関
	未納分	581,000	
掲載負担金	学会誌掲載負担金	1,350,000	30,000×45件
繰越金	平成29年度繰越金	2,071,313	
	合 計	8,926,313	

■支出の部

(円)

	費 目	金 額	備 考
補助金	研究大会運営補助金	50,000	奈良大会
印刷製本費	学会誌発行	1,822,503	美術教育学研究 No. 51 (発送費込み)
	会報発行	0	
	名簿発行	14,040	
運営費	運営委員会・拡大総務局会	130,713	旅費 (学会+部門 261,426)
	会場費	40,612	会場費 (学会+部門 81,224)
	各種員会	197,610	学会誌委員会
	諸会議・打合せ	90,340	
事務経費	通信費	92,480	会費請求
	事務費	66,570	
	雑費	8,208	手数料 (芳賀 4,104、原口 4,104)
委託費	事務支局業務委託費	1,296,000	会員管理業務
	学会誌編集委託費	542,700	編集業務
	大会受付業務委託費	436,850	第57回奈良大会
	HP管理費	60,000	
その他	大会案内	7,992	岐阜大会一次案内
予備費	予備費	0	
	合 計	8,926,313	

8,926,313 (収入の部) - 4,856,618 (支出の部) = 4,069,695 次年度へ繰越

令和元年度 大学美術教育学会 予算案

■収入の部

(円)

	費 目	決算額	予算額	増減	備 考
年会費	会費	4,924,000	6,012,000	1,088,000	8,000 円 × 751 名 4,000 円 × 1 機関 (令和元年度会員)
	未納分	581,000	0	-581,000	
掲載負担金	学会誌掲載負担金	1,350,000	1,500,000	150,000	
繰越金	平成 30 年度繰越金	2,071,313	4,069,695	1,998,382	
	合 計	8,621,313	11,581,695	2,960,382	

■支出の部

(円)

	費 目	決算額	予算額	増減	備 考
補助金	研究大会運営補助金	50,000	50,000	0	岐阜大会
印刷製本費	学会誌発行	1,822,503	2,000,000	177,497	美術教育学研究 No. 52 (発送費込み)
	会報発行	0	150,000	-150,000	大 学 美 術 教 育 会 報 No. 37 (発送費込み)
	名簿発行	14,040	20,000	5,960	
運営費	運営委員会・拡大総務局会	130,713	300,000	169,287	旅費
	会場費	40,612	50,000	9,388	会場費
	各種委員会等	197,610	200,000	2,390	学会誌委員会
	諸会議・打合せ	90,340	100,000	9,660	
事務経費	通信費	92,480	150,000	57,520	会費請求
	事務費	66,570	100,000	33,430	
	雑費	8,208	10,000	1,792	手数料
委託費	事務支局業務委託費	1,296,000	1,296,000	0	会員管理業務
	学会誌編集委託費	542,700	800,000	257,300	編集業務
	大会受付業務委託費	436,850	500,000	63,150	第 58 回岐阜大会
	HP 管理費	60,000	60,000	0	
その他	大会案内	7,992	10,000	2,008	岐阜大会一次案内
予備費	予備費	3,764,695	5,785,695	2,021,000	
	合 計	8,621,313	11,581,695	2,960,382	

平成30年度 学会 事業報告

5月31日(木)	「奈良大会二次案内」メール配信
6月23日(木)	「奈良大会三次案内」発行・郵送 研究発表(口頭)・ポスター発表の「申込案内」郵送
7月8日(日)	第1回総務局会(東京/ABC貸会議室)
7月18日(火)	大学美術教育学会「奈良大会」研究発表申込締切・ポスター発表申込締切 研究発表申込締切・ポスター発表原稿提出締切
7月27日(金)	学会誌・事前投稿登録締切
8月22日(水)	奈良大会事前参加申込締切
8月27日(月)	第2回総務局会(メール会議)
9月6日(木)	「奈良大会案内(最終案内)」HP掲載、メール配信
9月10日(月)	「投稿論文」締切(消印有効)
9月中旬	平成29年度会計監査 (山本監事・松尾監事)
9月21日(金)	大会前日諸会議:第3回総務局会、第1回大学美術教育学会理事会、各種委員会
9月22日(土) ～9月23日(日)	平成30年度日本教育大学協会全国美術部門協議会・第57回大学美術教育学会「奈良大会」:部門・学会合同開催式(奈良教育大学)、研究発表(口頭)、シンポジウム、部門・学会合同懇親会、ポスター発表、総会、閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開催大学-岐阜大学)
11月4日	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の最終提出は可否決定後4週間以内)
(平成31年)	
1月31日(木)	投稿論文掲載者による掲載負担金納入(厳守)
3月3日(日)	第1回代表・理事長選考委員会、第4回総務局会(東京/TPC貸会議室)
3月14日(木)	第2回学会理事会(メール会議)
3月31日(日)	「学会誌・第51号」発行・郵送
	*上記のほか、運営委員会(メール会議)等を随時開催

令和元年度 学会 事業計画

4月5日(金)	「岐阜大会一次案内」郵送・HP掲載
6月9日(日)	第1回運営委員会、第1回総務局会(東京/ABC貸会議室)
6月24日(月)	「部門会報」発行・郵送・HP掲載 「岐阜大会二次案内」郵送
8月7日(水)	学会誌・事前投稿登録締切
8月7日(水)	大学美術教育学会「岐阜大会」研究発表申込締切・発表概要原稿提出締切
8月27日(火) ～9月2日(月)	第2回総務局会(メール会議)
9月1日(日)	岐阜大会事前参加申込締切
9月3日(火)	「岐阜大会最終案内」HP掲載、メール配信
9月10日(火)	「投稿論文」締切(消印有効)
9月18日(水)	平成30年度会計監査 (山本監事・松尾監事)
9月20日(金)	大会前日諸会議:第3回総務局会、第1回全国美術部門役員会、各種委員会、大学造形教育連絡協議会(全美協との協議会)
9月21日(土) ～9月22日(日)	令和元年度日本教育大学協会全国美術部門協議会・第58回大学美術教育学会「岐阜大会」:部門・学会合同開催式(岐阜大学)、研究発表(口頭)、シンポジウム、部門・学会合同懇親会、部門協議会、ポスター発表、総会、閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開催大学-宇都宮大学)
11月上旬	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の最終提出は可否決定後4週間以内)
(令和2年)	
1月31日(金)	投稿論文掲載者による掲載負担金納入(厳守)
2月	第3回運営委員会、第3回総務局会
3月	第2回学会理事会(メール会議)
3月下旬	造形芸術教育協議会
3月31日(火)	「学会誌・第52号」発行・郵送
	*上記のほか、運営委員会(メール会議)等を随時開催

第58回 大学美術教育学会 岐阜大会報告

東海地区の3大学教育系学部の支援体制の下、2019年9月20日(金)～22日(日)に、「2019年度日本教育大学協会全国美術部門協議会並びに第58回大学美術教育学会」を岐阜大学で37年ぶりに開催しました。天候も心配したほどでもなく、210名余りの有料参加者があり、招待者・企業参加者・スタッフをあわせると、約270名近くが岐阜大学のキャンパスに集いました。



図1 開会式で挨拶する
佐藤大会運営委員長

1. 概要

[日程]

○大会前日 9月20日(金)午後 役員会議

○大会1日目 9月21日(土)

開会式、日本教育大学協会全国美術部門主催協議会、口頭発表、大会運営事務局主催シンポジウム、懇親交流会

○大会2日目 9月22日(日)

口頭発表、ポスター発表、学生会議、総会

[大会テーマ]人はアートで育っていく。～美術教育の新しい動向～

[会場] 501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学

[主催] 日本教育大学協会全国美術部門協議会／大学美術教育学会

[共催] 国立大学法人岐阜大学

[後援] 公益財団法人岐阜観光コンベンション協会

[運営] 岐阜大学 大会運営事務局

[発表申込み・事前申込み]

○口頭及びポスター発表の申込(演題登録)

7月1日(月)9時から8月7日(水)24時まで

概要集原稿提出期限も8月7日(水)24時まで

○発表者、事前参加登録・振込期限 9月1日(日)24時まで

[参加者]

○有料参加者 212名(事前申込者 141名：会員・一般 107名、院生・学生 34名／当日申込者 71名：会員・一般 52名、院生・学生 19名。)

招待者 6名、スタッフ 43名、企業 11名。

○懇親交流会有料参加者 130名(事前申込者 94名：会員・一般 73名、院生・学生 21名、企業 4名／当日申込者 32名：会員・一般 27名、院生・学生 5名) 招待者 2名、スタッフ 9名

[発表者] 口頭発表 54件

ポスター発表 14件

2. 大会1日目 9月21日(土)

[口頭発表] 21、22日の両日に行なわれた口頭発表では、鑑賞教育、教師教育、材料・素材研究、理論研究、海外での教育思想研究、美術教育史、幼児造形教育などの発表があり、熱心な意見交換がありました。

[開会式][全国美術部門協議会]開会式に引き続き、本部事務局主催「日本教育大学協会全国美術部門協議会」(10:00～11:00)では、「教職大学院における造形美術教育の現状と課題」というテーマの下、新関伸也氏(滋賀大学)をコーディネーターとして、松本健義氏(上越教育大学)、西村德行氏(東京学芸大学)、新野貴則氏(山梨大学)の3名のパネリストから、令和元年度に改組された教職大学院の全体像や造形美術教育の授業や実習等の現



図2 協議会登壇者



図3 シンポジウム登壇者

状について報告していただき、課題や展望について協議しました。

[シンポジウム]大会運営事務局主催シンポジウム「人はアートで育っていく。～美術教育の新しい動向～」を行ないました(17:30-19:00)。

登壇者に日比野克彦氏(岐阜県美術館館長)、会田大也氏(山口情報芸術センター、ビデオ出演)、松本和子氏(フレスコ画家)をお招きし、野村幸弘(岐阜大学教授)がコーディネーターを務めました。約 250 名の参加者があり、美術教育の新しい取り組みとして、はじめに会田大也氏がビデオ映像であいちトリエンナーレ 2019 のラーニング・プログラムとして採用した「対話型鑑賞」を紹介し、観客のクリエイティビティと発信力への期待を語りました。続いて松本和子氏が京都の涉成小学校の空き教室を利用したアーティスト・レジデンスの取り組みを、最後に日比野克彦氏が岐阜県美術館の館長に就任以来、約 5 年間にわたって県内施設と連携しながら美術館を地域に開放する試みを紹介しました。会場からは、視覚的な美術を言語化することの重要性や、学校における予算化された鑑賞教育の実践例など、貴重な意見が出されました。

[懇親交流会] 同日夕刻の大学内での約 140 名の参加の懇親交流会では、佐藤哲夫代表・理事長(新潟大)や本学森脇久隆学長の挨拶のほか関連学会の美術科教育学会副代表理事の宇多秀士氏(奈良教育大)、日本美術教育学会事務局長の大橋功氏(岡山山)、全美協(私立大学)会長の沖中重明氏(頌栄短期大学)のスピーチがあり、多いに交流を深めました。会後半では次年度大会開催の宇都宮大学のスタッフの挨拶

もあり、大会の襻をつなげました。

3. 大会 2 日目 9 月 22 日(日)

[ポスター発表] 同日昼に行なわれたポスター発表では、14 件の発表があり、参加者との近い距離での対話や議論が生まれました。

[学生会議] 岐阜大会で 10 回目の開催となる学部学生を中心とした学生会議では、「私たちが考える美術教育」というテーマのもと、今後の美術教育について代表学生の発表をもとに熱心な議論を交わしました。

[総会] 年一度の総会においては、活動計画案、決算・予算報告などについて審議しました。

4. 大会運営について

多くの発表者、参加者、企業ブース関係者及び本部事務局の支援により、盛会となりましたことに御礼申し上げます。なお岐阜大会は、以下のスタッフにより、運営致しました。

○岐阜大会運営事務局(岐阜大学 教育学部 美術教育講座内)[大会運営委員長] 佐藤昌宏/[大会運営副委員長(研究)] 野村幸弘/[大会運営副委員長(総務)] 河西栄二/[大会運営事務局委員] 山本政幸、隼瀬大輔/[院生・学生スタッフ] 38 名

○第 58 回奈良大会システムサポートデスク
京都市上京区 中西印刷株式会社内

[謝辞] 東海地区 3 大学の先生方、芳賀先生、サポートディスク河合真須美氏には、特段のご支援をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

(大会運営委員 河西栄二 2019.10.31 記)



図 4 口頭発表



図 5 懇親会で交流を深める参加者



図 6 懇親会での宇都宮大学スタッフ挨拶

会員情報（メールアドレス）の更新のお願い

経費削減ときめ細やかな会員サービスの実現のために、部門からの連絡の一部を可能な限り電子メールに移行させていただいております。

会員の皆様には電子メールアドレスに変更等がございましたら、随時、**e-naf** システムより会員登録情報の更新をお願い致します。

<更新方法>

- ①大学美術教育学会会員情報管理システム (**e-naf**) ログイン画面を開く
<https://e-naf.jp/UAESJ/member/login.php>
- ②「ログイン ID (会員番号)」と「パスワード」を入力 (ID は封筒の宛名の右下に記載があります。今後とも必要となりますので必ずご自身で控えておいてください。パスワードを紛失した場合は、ログイン画面より再発行が可能です。)
- ③会員登録情報をクリック
- ④画面一番下の「修正」をクリック
- ⑤修正したら、確認画面→登録へと進む。
- ⑥登録変更のご連絡（自動配信メール）が届いたら変更完了

学会員の名簿について

大学美術教育学会の会員名簿については、パスワード付 **PDF** をホームページの会員情報に掲載しております。下記の方法で **PDF** をダウンロードし、別紙に記してありますパスワードを入力してご確認ください。なお、**e-naf** のパスワードとは異なりますのでご注意ください。

<会員名簿（PDF ファイル）のダウンロード>

- ①日本教育大学協会全国美術部門・大学美術学会のホームページを開く (<https://www.uaesj.com/>)
- ②次の順でメニュー等をクリックする。
「大学美術教育学会」→「会員情報」→「大学美術教育学会 会員情報名簿」
- ③ダウンロードしたら、パスワードを入力

年会費の支払いに関するお願い

大学美術教育学会は、皆様の年会費により運営されています。年会費の支払いにご協力ください。

滞納されている方は、早めに納入くださいますようご協力お願い致します。なお、払込取扱票の再発行はいたしかねます。未納額が不明な場合には、会員様ご自身で **e-naf** より会費納入状況をご確認いただけます（メールによるお問い合わせにも、従来通り対応致します）。また、領収書は払込の控えをもって代替させていただいておりますので、ご了承ください。

■振込先

口座番号：00980-6-203000

加入者名：大学美術教育学会

*大会参加費の送付先とは異なりますので、ご注意ください。

問合せ先について

大学美術教育学会では、平成 26 年度以降、業務の一部をアウトソーシング（中西印刷株式会社に業務委託）しております。つきましては、会員管理・会費に関するお問い合わせは、大学美術教育学会事務支局（中西印刷内）へ、その他については、総務局へお問い合わせください。

<会員管理・会費関連に関するお問い合わせ>

大学美術教育学会事務支局
（中西印刷株式会社内）

Tel:075-415-3661

e-mail:uaesj@nacos.com

<総務局へのお問い合わせ>

総務局専用電子メールアドレス
e-mail:daibibumon@uaesj.com

【総務局広報担当】

芳賀正之（静岡大学）

河西栄二（岐阜大学）

村田 透（滋賀大学）

松尾大介（上越教育大学）

